



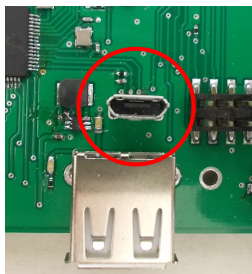
## SECTION 05\_1 : PAN設定(TS03GRX)

### 特徴

- SRPC2内に搭載されているTS03GRXで受信したデータをサーバーに送信します。
- TS03GRXの台数を増やしたい場合、コマンド入力を受信データを追加できます。
- 送信元IDでフィルタリングできます。フィルタリング無しにもできます。

## ブラウザ画面による設定

### 1-a. パソコンと接続(USB)

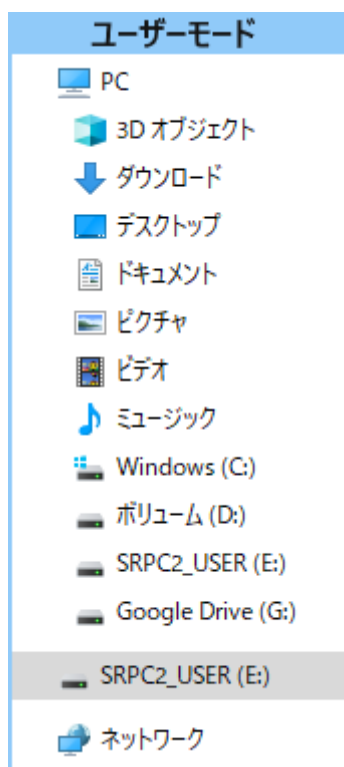


左写真のUSBコネクタ(USB Micro-B)とWindowsパソコンをUSBケーブルで接続してください。下記のデバイスドライバが自動で起動します。電源は入れたままで構いません。

USB-CDC / USB-MSD / USB-RNDIS

Windowsパソコン以外に接続される場合には、上記のデバイスドライバがインストールされていない場合があります。

パソコンに接続した時に、USBメモリを接続した時と同じようにフォルダ画面が表示されます。なお、お使いの環境によっては自動では表示されない場合もあります。

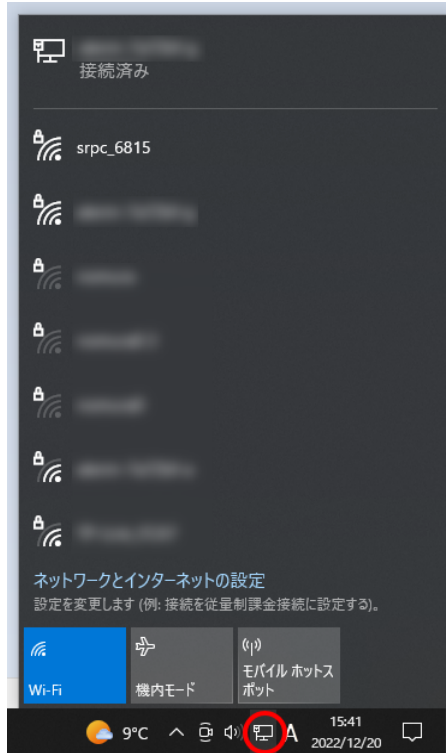


SRPC2がEドライブ(SRPC2\_USER)として認識されている場合

このフォルダ画面は、今回は使用しないので閉じてください。

## 1-b. パソコンと接続(WiFi)

srpc2のwifiは、電源投入後60分間だけ有効になっています(設定で変更可)。電源を投入してから60分以内に作業を完了する必要があります。

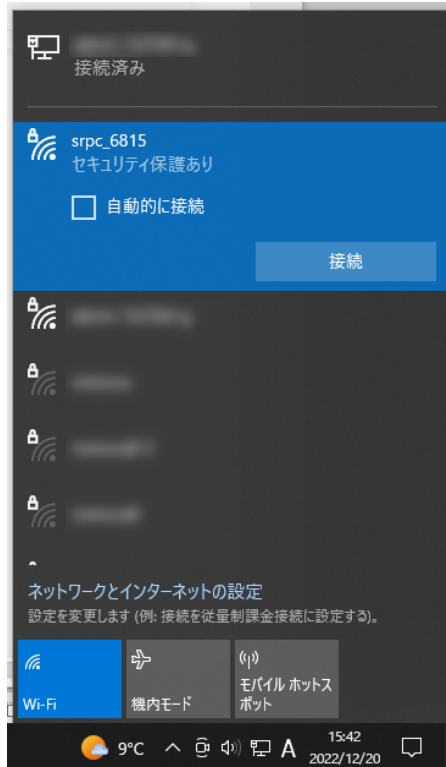


パソコン画面の右下の赤丸をクリックすると、現在の検知できているWiFiのアクセスポイントの一覧が表示されます。

その中に「**srpc\_XXXX**」というアクセスポイントがあります。XXXXは、srpc2のHW IDになります。srpc2のHW IDは、製品情報のページで確認できます。

「srpc\_XXXX」の項目をクリックすると、表示が下写真のように変化します。

なお、表示名は「NIF設定」で変更することができます。



「接続」ボタンを押すと、パスワードの入力を求められます。工場出荷時のパスワードは、「**nomuraeng**」になります。

「接続」の表示が「切断」になれば、WiFi接続が確立できたこととなります。

なお、パスワードは「NIF設定」で変更することができます。

## 2. ブラウザを起動

### USB接続

<http://10.130.11.1> 左のリンクをクリックしてください。自動でブラウザ画面が表示されます。表示されない場合、お使いのパソコンにインストールされているブラウザ(Edge、Chrome等)を起動し、URLの項目に<http://10.130.11.1>と入力してください。

10.130.11.1というアドレスは、変更することができます。もし、変更している場合には文章を置き換えてください。

### WiFi接続

<http://10.130.22.1> 左のリンクをクリックしてください。自動でブラウザ画面が表示されます。表示されない場合、お使いのパソコンにインストールされているブラウザ(Edge、Chrome等)を起動し、URLの項目に<http://10.130.22.1>と入力してください。

10.130.22.1というアドレスは、変更することができます。もし、変更している場合には文章を置き換えてください。

SRPC2	
稼働状態	稼働状態
基本設定	現在の状況
アップロード	ソーラー電圧 1728 mV
スケジュール	バッテリー電圧 3280 mV
WAN設定	バッテリー充電電流 0 mA
LAN設定	バッテリー放電電流 15 mA
PAN設定	消費電流 15 mA
NIF設定	基板温度 27.00 °C
IF設定	ローバッテリー電圧 3100 mV(温度補正後)
製品情報	ローバッテリー解除 3200 mV(温度補正後)
	本日の状況
	バッテリー充電量 0 mAh
	バッテリー放電量 0 mAh
	消費電流量 0 mAh

上写真の画面が表示されることを確認してください。

### 3. PAN設定

左メニューの「PAN設定」をクリックすると、下写真の画面が表示されます。表示されない場合、製品情報で「PAN」の項目がOFFになっていないか、確認してください。OFFになっている場合、お使いのSRPC2にはPANモジュールが搭載されていないため、「PAN設定」を行うことができません。

SRPC2

稼働状態

基本設定

アップロード

スケジュール

WAN設定

LAN設定

PAN設定

NIF設定

IF設定

メール設定

製品情報

PAN設定

TS03GRX

受信リスト  
(500文字まで)

装置番号

更新のみ

保存&更新

空なら全て受信されます。  
複数、範囲指定が可能(例 1234,1400-1500)。  
受信リストは強制的に記憶されます

各項目の設定が完了したら、一番下の「更新のみ」か「保存&更新」ボタンを押してください。「更新のみ」ボタンで設定した場合には、電源を切ると設定した内容が破棄されます。「保存&更新」ボタンで設定した場合には、電源を切っても設定した内容は破棄されずに、次回の電源オン時の初期値になります。

#### 4. アップロードの設定

左メニュー内の「アップロード」を選択すると、下写真の画面が表示されます。その中の「PAN通信」を選択してください。

「PAN通信」が表示されない場合、製品情報で「PAN」の項目がOFFになっていないか、確認してください。OFFになっている場合、お使いのSRPC2にはPANモジュールが搭載されていないため、「PAN通信」を行うことができません。

## SRPC2

稼働状態	アップロード
基本設定	基本設定
アップロード	バッテリー状況
スケジュール	電源供給
WAN設定	イベント
LAN設定	接点出力1
PAN設定	接点出力2
NIF設定	接点出力3
IF設定	接点出力4
製品情報	PAN通信

SRPC2

稼働状態	アップロード	
基本設定	PAN通信(TS03GRX)	
アップロード	アップロード	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
スケジュール	送信間隔	<input type="text" value="0"/> 分毎
WAN設定	送信項目	<input checked="" type="checkbox"/> SRPC ID (srpc_id) <input checked="" type="checkbox"/> タイムスタンプ (smp_ts) <input checked="" type="checkbox"/> 測定日時 (smp_tm) <input checked="" type="checkbox"/> 計測連番 (seq_no) <input checked="" type="checkbox"/> 装置番号 (mod_num)
LAN設定		<input checked="" type="checkbox"/> 送信元TS03 ID (ts03_id) <input checked="" type="checkbox"/> 信号強度 (rssi) <input checked="" type="checkbox"/> ローバッテリー(lowbatt) <input checked="" type="checkbox"/> 接点情報(sw) <input checked="" type="checkbox"/> タイプ(raw_type) <input checked="" type="checkbox"/> データ (raw)
PAN設定	ファイル No	<input type="text" value="5"/> (0~15)
NIF設定	<input type="button" value="更新のみ"/> <input type="button" value="保存&amp;更新"/>	
IF設定		
メール設定		
製品情報		

各項目の設定が完了したら、一番下の「更新のみ」か「保存&更新」ボタンを押してください。「更新のみ」ボタンで設定した場合には、電源を切ると設定した内容が破棄されます。「保存&更新」ボタンで設定した場合には、電源を切っても設定した内容は破棄されず、次回の電源オン時の初期値になります。

## PAN設定の画面

### 受信リスト

受信を許可する送信機側のIDを入力します。空欄の場合は、全て受信します。カンマ区切りで複数指定、ハイホン区切りで範囲指定ができます。例えば、ID1001とID2001のを許可したい場合、「1001,2001」と入力します。また、ID1100～ID1199までを追加で許可したい場合には、「1001,2001,1100-1199」と入力します。

受信リストは、「更新のみ」ボタンを押しても、強制的に記憶されるので注意してください。

### 装置番号

SRPC2のPANモジュール番号を設定します。0～100まで指定できます。サーバーに送信するデータに含まれる「計測連番」は、このモジュール番号毎に管理されます。TS03の受信データをコマンドで追加する場合、モジュール番号を分けることで「計測連番」が別々に管理されます。

たとえば、SRPC2本体内のTS03GRXを装置番号0にして、追加でTS03GRXを2台用意したいとします。追加したTS03GRXは、SRPC2本体とシリアル通信(コマンドモード)で接続することで、受信したデータをSRPC2に送ることができます。そのSRPC2に送る時に一緒に装置番号を指定することができます。追加したTS03GRXの装置番号を1と2に割り振ることで、サーバー側が受信の欠落をチェックする時に、「計測連番」だけを調べるだけで済みます。



## アップロードの設定画面

### アップロード

アップロードを行うか設定します。「する」を選択すると、他の項目が表示され編集できるようになります。「しない」に設定すると、アップロードは行われなくなりますが、既にファイル内に保存されている計測データは削除されませんが、再び「する」に設定した時に、ファイル内に保存されている計測データも一緒に送信されます。

### 送信間隔

アップロードが「する」に設定されている場合、送信間隔でTS03GRXの受信データが保存されているファイルをサーバーに送信します。

### 送信項目

送信する項目を選択できます。チェックが外れている項目は送信されません。

### SRPC ID

SRPC2に設定されているSRPC IDになります。左メニューの基本設定で変更できます。

### タイムスタンプ

SRPC2が起動してからの経過時間(ms)になります。4294967295(0xFFFFFFFF)を超えると、0に戻ります。

### 測定日時

アップロードの基本設定で設定されている「日付形式」で表記されます。

### 計測連番

0から始まり、4294967295(0xFFFFFFFF)を超えると、0に戻ります。計測番号は、モジュール番号毎に管理され、対象のモジュール番号にデータが追加されると+1されます。対象のモジュール番号以外がサンプリングされても値は変化しません。データの欠落がないか確認する際に使用できます。電源が落ちると0に戻ります。

---

## 装置番号

---

モジュール番号になります。モジュール番号は、設定で変更することができます。重複した番号でも設定できます。

---

## 送信元TS03 ID

---

送信元のTS03 IDになります。10進数の数値になります。最大は16777215(0xFFFFF)になります。

---

## 信号強度

---

SRPC2内のTS03GRXが受信出来た時の信号強度になります。送信機と見通しが悪くなったり、距離が遠くなると強度が下がっていきます。推奨値は、-110dBm以上になります。

---

## ローバッテリー

---

送信元のTS03のバッテリー状態になります。ローバッテリー時にtrueになります。

---

## 接点情報

---

TS03から送信された接点情報になります。1バイトを16進数で表記した2文字になります。

---

## タイプ

---

TS03のセンサタイプになります。10進数の数値になります。最大は255(0xFF)になります。どのセンサタイプでも送信される計測データは4バイトになります。4バイトの値が何の計測値になるかは、センサタイプによって変わります。

---

## データ

---

TS03から送信された計測データになります。4バイトを16進数で表記した8文字になります。どのセンサタイプでも送信される計測データは4バイトになります。4バイトの値が何の計測値になるかは、センサタイプによって変わります。

---

## ファイルNo

---

TS03GRXの受信データの保存先ファイル番号になります。他のデータ種別と同じ番号になっても問題ありません。



変更履歴

2023/1/23 Rev1.0

新規作成